



鎮西

総監初度視察

西部方面総監 荒井陸将は、令和7年4月から6月の間、自衛隊宮崎地方協力本部、西部方面システム通信群、西部方面指揮所訓練支援隊、八重瀬分屯地、西部方面情報隊、自衛隊長崎地方協力本部、相浦駐屯地、大村駐屯地、竹松駐屯地及び九州補給処健康支処の初度視察を実施し現状把握と指導を実施しました。

発行所
自衛隊 西部方面総監部
総務部広報室
電話 096-368-5111
印刷所
(有) 明星印刷所



西部方面指揮所訓練支援隊 (運営状況確認)



西部方面システム通信群 (隊員との懇談)



自衛隊宮崎地方協力本部 (施設巡視)



自衛隊長崎地方協力本部 (施設巡視)



西部方面情報隊 (旗手申告)



八重瀬分屯地 (施設巡視)



九州補給処健康支処 (施設巡視)



竹松駐屯地 (施設巡視)



大村駐屯地 (隊員との懇談)



相浦駐屯地 (儀仗)



トロンボーン独奏 (香坂士長)



国家斉唱

「地域とともに 未来をひらく 我ら防人」をテーマに、ともに70年。守り続ける未来のために、をテーマに、「バンドのためのゴジラファンタジー」や「ALWAYS 三丁目の夕日」、「エヴァンゲリオン・ウィン ドシンフォニー」などの過去から未来につながる全11曲を披露しました。演奏に合わせて上映した70年の歴史を振り返る映像には、スクリーンを指差して囁きあったり、涙を拭いたりする観客も見られました。「大変感動した。また聴きに来たい」「これまで聴いてきた演奏会で一番よかった」「映像とのコラボがよかった」等の感想や賞賛を沢山いただきました。

西部方面隊創隊70周年 西部方面音楽隊第52回定期演奏会

西部方面隊は、令和7年6月14日(土)、熊本県立劇場において、西部方面音楽隊第52回定期演奏会を実施し、約1,260名の方に来場いただきました。



演奏会の様子 (音楽と映像のコラボ)



熱唱する隊員 (左から水上3曹、角田3曹、波多江3曹、大津3曹)



締結式の状況

西部方面隊は令和7年4月3日(木)、大規模災害時等における被災者の迅速な救援及び復旧等に係る連携・協力のため、イオン(株)との協定締結式を実施しました。今回の協定締結により、大規模災害対応における協力を強化し、災害対応の実効性を向上を図りました。

イオン(株)との協定締結式



霧島演習場 (25m射場整備)



大野原演習場 (手榴弾投擲場整備)



大矢野原演習場 (連絡道整備)



日出生台演習場 (通信線整備)

第1次教育訓練基盤構築

西部方面隊は、令和7年4月5日(土)から4月23日(水)までの間、九州各地の演習場において、演習場の機能向上及び機能維持に係る所要の整備を実施して、教育訓練に必要な基盤を整備しました。

第四師団

お問い合わせ先
福岡駐屯地
第4師団広報室
092-591-1020

第4師団創立63周年・福岡駐屯地 開設75周年記念行事

第4師団及び福岡駐屯地は、令和7年4月20日（日）福岡駐屯地において、第4師団創立63周年・福岡駐屯地開設75周年記念行事を実施しました。

本行事は、強靱な部隊の威容を示し、第4師団及び福岡駐屯地に対する地域住民の理解を更に深めるとともに、州内外に於いて第4師団として「我が第4師団は北部九州地区という我が国防衛上の要点を担っている」という意義を伝え、引き続き任務を邁進している所存であることを強くアピールしました。

感謝状贈呈式においては、平素より自衛隊の活動に対する協力や就職支援協力等により多大なご協力を頂いてる功労者や就職支援協力等により多大なご協力を頂いてる功労者の皆様に対して、師団長から感謝状及び記念品を贈呈しました。

記念式典においては、6名の国会議員の皆様、服部誠太郎福岡県知事をはじめ近隣自治体の首長、県・市議会議員の方々、歴代師団長等多数のご来賓及び一般来場者のご参加を賜り、整齊・円滑と執り行われ、各部隊は力強い観閲行進を実施して、来場された方々にその威容を示しました。

観閲官（第4師団長・戒田重雄陸将）は式辞において「職務に対する絶対的な誇りと特技に対する絶対的な自信、これを堅持しつつ、いかなる任務が与えられても必ず遂行できるよう、一所懸命一伴に頑張っていく。師団・駐屯地隊員一同、皆様方のご期待に添うべく日々努力を積み重ねていくことをお誓い申し上げます」と今後決意を述べました。

また、記念行事の終始にわたり実施された装備品展示、特設コースでの戦車・装甲車の装備品試乗、写真パネル展示や制服の試着、VR体験等の自衛隊活動紹介コーナーなどを通じて自衛隊への理解を促進するとともに、音楽広場、ちびっこ広場での様々な催事を実施し、自衛隊員に対する親近感を醸成し、来場された方からは「初めての経験で楽しかった」「日頃見れないものがたくさん見れて良かった」「等のお声をいただきました。ありがとうございました。第4師団及び福岡駐屯地は地域の皆様のご理解とご協力をより一層得られるよう、多種多様な任務に邁進し、日々努力してまいります。」



記念式典

福岡県防災訓練

第4師団は、令和7年5月25日（日）、福岡県総合防災訓練に福岡駐屯地所在の第4後方支援連隊及び第4偵察戦闘大隊を参加させました。



令和7年度第1次師団訓練検閲

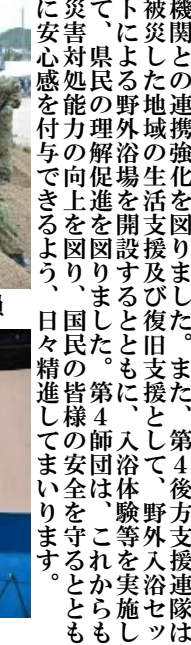
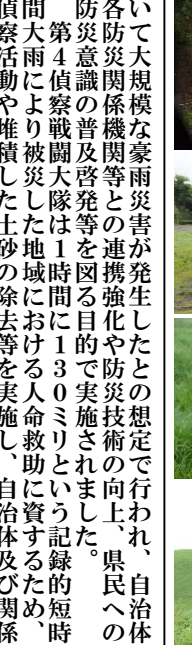
第4師団は、令和7年6月8日（日）から13日（金）までの間、日出生台演習場及び十文字原演習場において、令和7年度第1次師団訓練検閲を実施しました。

本訓練検閲は、実際の領域横断作戦環境を作為し、諸職種協同を含む各種戦闘力の組織化及び各級指揮官の状況判断を演習して、部隊の進歩向上を促すことを目的とし、第40普通科連隊（小倉）、第4高射特科大隊（久留米）及び第4飛行隊（目達原）の3個部隊を対象に実施しました。

第40普通科連隊は、高射特科部隊をはじめとする諸職種部隊の配置を受けて戦闘力を編成し、8日、梅雨入りによる降雨続きで地面が泥濘化する中、敵の攻撃を阻止するため、敵の斥候やドローン等空地からのあらゆる偵察活動に対して我々の陣地・兵器等を秘匿するとともに、無線機による通信規律に努めつつ、スカイレンジャー（ドローン）や、衛星等あらゆる手段で情報を収集し、領域横断作戦環境に適応した戦闘を実施しました。

第40戦闘団に配属された第4高射特科大隊は、敵航空機等に対する警戒を厳にするとともに、対空兵器の秘匿・欺騙・防護、適時の陣地変換等により、対空兵器の健全性を向上させ、対空戦闘に万全を期しました。また、予想された敵のヘリボン攻撃に対しては、大隊の統制のもと、戦闘全体として綿密な戦闘予行を実施し、戦闘準備を整えました。戦闘段階においては、敵の砲迫等の攻撃を回避した対空兵器とともに、各部隊の携帯地对空誘導弾を効果的に運用して、敵のヘリボン攻撃に対処し、第40戦闘団の戦闘に寄与しました。

第40戦闘団を攻撃する対抗部隊と協同する第4飛行隊は、悪気象が続く中、天候の間隙を突き、展開地に推進し、予想される任務に専ら集中し、地上火力による制圧、偽降隊の攻撃進展に寄与すべく計画されたヘリボン攻撃において、脅威となる対空兵器に対し、地上火力による制圧、偽降隊等により、任務を遂行しました。地上火力による制圧、偽降隊等により、任務を遂行しました。



共同で人命救助訓練を実施する隊員

野外入浴セットを準備する隊員

第8師団創立63周年・北熊本駐屯地 開設68周年記念行事

第8師団は、令和7年4月13日（日）、第8師団創立63周年・北熊本駐屯地開設68周年記念行事を開催しました。

記念式典には、九州・沖縄地区防衛協会連絡協議会会長木村敬 熊本県知事、河野俊嗣 宮崎県知事、衆参両国会議員、防衛協力諸団体及び歴代師団長をはじめとする、多数のご来賓のご参加を頂くとともに、近隣住民の方々等、約八千人が来場されました。式典は、熊本出身の嘉悦なつ美様の国歌独唱から始まり、盛大に記念式典を執り行うことができました。

徳永師団長は、式辞において国防の第一線である西部方面隊における第8師団の隊員としての「覚悟」、事に臨んで危険を顧みず「覚悟」をもって任務を完遂するため、「心」も強くある必要があり、自分に厳しく、人の痛みがわかり、強い信頼関係が結ばれた組織を作っていくことが要望し、また、地域の皆様との「和」、部隊・ご家族を含む隊員一人ひとりの「和」を大事にするよう併せて要望しました。

式典後は、観閲行進、訓練展示、装備品展示、ドローザイによる書道展示、音楽隊演奏、太鼓演奏、ダンス披露、学生との合同演奏及び熊本・宮崎・鹿児島三県のゆるキャラが一同に集まり、くまモン体操を行うと、会場を埋め尽くした来場者からは、盛大な拍手と歓声があがりました。本記念行事を通し、第8師団及び北熊本駐屯地と地域住民の方々との「和」を深めるとともに精強性をアピールすることができました。

第八師団

お問い合わせ先
北熊本駐屯地
第8師団広報室
096-343-3141

第1次教育訓練基盤構築 （第8特殊武器防護隊）

第8師団は、令和7年4月14日（月）から4月25日（金）までの間、各演習場において教育訓練基盤構築を実施しました。

師団全隷下部隊は、任務遂行に係るミッションリハール可能な基盤を構築するため、現在の演習場の機能を向上させる整備及び現在保有する機能を維持する整備をそれぞれ実施し、訓練最盛期に向け、訓練の準備を推進することができました。大矢野原演習場整備に参加した第8特殊武器防護隊 先任上級曹長 有村曹長は「自分たちの「道場」である演習場が任務完遂のために形として成果が残ることに隊員もやりがいを感じています。また、安全係の配置に併せて若年隊員に対しても器材取扱い等の指導を実施し、事故なく基盤構築を実施することができました」と述べました。



安全係による指導



若手隊員に対する指導

佐多射撃 （西部方面対舟艇対戦車隊）

第8師団は、令和7年5月30日（金）から6月7日（土）までの間、佐多射撃場において洋上移動目標に対する射撃訓練を実施しました。

西部方面対舟艇対戦車隊（隊長 里見2佐）は、隊長以下40名で本訓練に参加しました。本訓練は、情報と火力の組織化ルーティーンを実施して、洋上目標に対する前進観測班の能力向上を図るとともに師団火力調整所との連携要領を確認して、洋上目標に対する96式多目的誘導弾射撃の実効性を向上する目的で実施しました。観測訓練は、観測器材を使用し、標定を実施して、未来位置に対する射撃要求精度の向上を図るとともに射撃訓練では、第3小隊の実射訓練検閲を併せて実施し、前進観測班の未来位置の射撃要求に基づき、96式多目的誘導弾2発を射撃して、全弾命中の成果を得ました。



洋上目標を観測する前進観測者



96式多目的誘導弾の射撃



式辞を述べる師団長



戦闘訓練展示



観閲行進



ゆるキャラのコラボダンス



第十五旅団

お問い合わせ先
那覇駐屯地
第15旅団広報・渉外班
098-857-1155

沖縄県への行幸啓に対する行列

第15旅団は、令和7年6月4日（水）及び5日（木）、沖縄県への行幸啓に際し、陸海空自衛隊で奉迎並びに奉送を行いました。これには、第15普通科連隊、第15ヘリコプター隊、第15後方支援隊、第15偵察隊、第15通信隊から選抜された隊員約40名が参加し、旅団の代表として澆瀾とした姿で厳粛に任務を遂行しました。



と列の様子

自衛官候補生教育

第15普通科連隊は、令和7年4月1日（火）から6月22日（日）までの間、那覇駐屯地において令和7年度の自衛官候補生教育を行いました。約3ヶ月間、団体生活に不慣れた候補生達は、教官・助教の親身な教育に團結して取り組み、6月22日には49名全員が無事修了式を迎えました。式には多くの保護者、自治体の首長の方々に参加をいただきました。比屋根候補生は「被災地で頑張る自衛官の姿を見て自衛隊を志望しました。私も人を守り支えられる自衛官になりたいです」とテレビ取材に対して、堂々と抱負を述べました。



基本教練の様子



修了式の様子



行進訓練の様子



戦闘訓練の様子

みやーくふれあいコンサート（宮古島）

第15音楽隊は、令和7年6月28日（土）、マティダ市民劇場（沖縄県宮古島市）においてみやーくふれあいコンサートを行いました。みやーくとは宮古島の方言で宮古島の人を表す表現です。宮古島に所縁のある楽曲や小さなお子様から大人まで楽しめる楽曲を演奏し、約930人の来場者に楽しんでいただきました。



熱唱中の隊員

演奏中の様子

また、地元の中学・高校の吹奏楽部の学生との合同演奏も行い、演奏会が更に盛り上がり、演奏会来場者からは「音楽隊が楽しそうに演奏していたのが見ていて気持ち良かった」など、沢山の励まされる感想をいただきました。



合同演奏の様子②

合同演奏の様子①

暑さに負けるな！ 暑熱対策セミナー

第15旅団は、令和7年6月3日（火）及び4日（水）、那覇駐屯地において、過酷な暑さを克服するための暑熱対策セミナーを39社からの参加を得て盛大に開催しました。第15旅団の隊員だけでなく、海空自衛隊や米軍のほか、県内の自治体からも研修があり、

最新の暑熱対策グッズや技術等を取り扱う企業からの説明や展示を熱心に見聞きしていただきました。隊員からは「これ良い！欲しい！」や「なるほど」と要望や感嘆の声が多く聞かれました。



会場内の様子



説明を聞く隊員



装備品展示の様子



説明中の様子



方面直轄部隊

第24期一般陸曹候補生訓練参観（国分）

第一二三教育大隊（大隊長 山下2佐）は令和7年4月27日（日）、国分駐屯地グラウンドにおいて、第二十四期一般陸曹候補生約250名のご家族等に対し、訓練参観を行いました。

この訓練参観は、入隊からのご子息の成長を確認していただくと共に、教育の概要や福利厚生等の説明の場を設け、教育に対する理解と信頼感を深めていただくことを目的として行っています。

今回は約410名のご家族等に参加していただき、基本教練の様子を見学してもらいました。

ご家族等に見守られる中、気合十分の学生達は、一ヶ月の訓練成果を披露し、ご家族からは「実際の様子を見て安心することができた」、「はじめて息子の大きな声を聞いて驚いた」等の感想をたくさんいただき、成長を感じてもらうことができました。

第一二三教育大隊は、今後も学生の成長を後押しし、修了式にはより一層逞しい姿をご家族等にお見せできるように教育に邁進してまいります。



班を指揮する一般陸曹候補生



写真に見入るご家族



久しぶりの家族との再会

第2高射特科団 競技会

第2高射特科団は令和7年3月24日（月）及び同年5月28日（水）、飯塚駐屯地において、団競技会を行いました。

本競技会は特に若年隊員のやりがい、帰属意識及び士気の高揚、部隊の団結強化を図る目的で行われ、各隷下部隊が各中隊等の威信をかけて参加しました。

まず1つ目の競技として「炊事」を行い、調理メニューとして「白ご飯」「豚汁」「ポテトサラダ」は各中隊等共通の指定メニューとして、メインの「さば調理」はそれぞれアレンジして調理しました。

選手は炊事経験の少ない若手隊員を基準として選出され、野外炊具を使用し、慣れない手つきで苦戦しながらも力を合わせて料理を完成させました。団長や飯塚駐屯地栄養士などが見た目や味を真剣に審査し、第2高射特科団本部付隊が優勝しました。隊長や選手たちも「まさか優勝できるとは」と驚きの中に喜びと感動がにじみ出ていました。

次に2つ目の競技として「通信」を行い、各中隊等の陸士または3曹昇任4年未満の若手隊員より抽選で3名選出され、定められた経路及び方法で有線（通信線）構成の速度や正確性などを競いました。優勝は第3高射特科群本部管理中隊で「練成の成果が発揮できてとてもうれしい」と喜びを語ってくれました。

団競技会を行ったのは令和元年以来約6年ぶりで、若手隊員にとっては初めての経験となる隊員も多かったため「優勝」という1つの目標に向かって協力し、努力を重ねることは戦闘・戦技能力の向上のみならず、隊員のやりがいや部隊の団結強化にもつながりました。第2高射特科団は今後も任務に邁進してまいります。



調理風景



構成資材の運搬



導通点検



優秀隊員の表彰

全国自衛隊大会制覇 (西部方面システム通信群)

西部方面システム通信群は、朝霞駐屯地で実施された第四十九回国自衛隊バレーボール大会 男子の部において優勝し三連覇を達成するとともに、マスターズの部も三大会ぶりに見事優勝しました。また、西神通群主力である健康駐屯地空手道部も第五十九回全国自衛隊空手道選手権大会において団体戦組手の部で五年ぶりの優勝を果たすとともに、個人戦の部においては男女共に優勝しました。

バレーボール部は昭和五十二年、「全国に誇れるスポーツ競技を創部したい」という強い思いにより発足し、同大会で三十回の優勝を果したし、最高八連覇を達成。また、空手道部は昭和三十六年、空手道を通じて、「人格の形成・仲間への尊重と敬意によって如何なる任務にも貢献できる人材の育成」を目的として発足し、同大会で十五回の優勝を果たし、最高七連覇を達成しています。

両部は群の任務を全力で遂行する傍ら西神通群協会の応援を頂きながら活動し、歴史と伝統の継承者として努力を傾注して、基礎体力の向上はもとより、人格形成の修養の場として、また、地域との交流を深めています。



昭和52年全自バレーボール選手権大会 初出場初優勝凱旋

全自バレーボール選手権大会躍動する隊員

全自バレーボール選手権大会優勝



創部当時(昭和49年)の写真

全自衛隊空手道選手権大会 攻め込む隊員

全自衛隊空手道選手権大会優勝

令和7年度大量傷病者収療訓練 (自衛隊熊本病院)

自衛隊熊本病院は、令和7年6月19日(木)、熊本駐屯地において「令和7年度大量傷病者収療訓練」の段階的な訓練として「患者搭載卸下訓練」を行いました。

大量傷病者収療訓練は、有事における大量傷病者の発生を想定し、患者の収容調整から航空機による患者空輸、車両による搬送、病院への搬入及び診療までの一連の流れについて段階的に演習・検証するものであり、今回の訓練では救急車で搬送された患者の病院への搬入要領について演習し、今年9月に実施予定のヘリ実機を使用した搭載卸下訓練及び10月の総合訓練に向けて、基礎的な動作に習熟する事ができる。引き続き、各種事態対処時における衛生支援の更なる実効性向上を図り、訓練に邁進してまいります。



患者の搬送

救急車からの卸下

陸自ジョブリンピック 2025(沖縄地本)

自衛隊沖縄地方協力本部は、令和7年6月22日(日)、陸上自衛隊那覇駐屯地において陸上自衛隊の魅力を発信するイベントとして「見えて・聞いて・体験する 陸自のお仕事展」をテーマに「陸自ジョブリンピック2025」を行いました。

第2回目の開催となる今大会は、沖縄県内の小学生から社会人まで延べ85名の方に参加していただきました。

イベントでは、自衛官候補生修了式(以下、修了式)を見学していただくことも。陸上自衛隊の職種説明を行いました。今大会では新たに、普段見ることのできない修了式を見学することで、自衛官候補生の成長した姿を直に感じてもらう。その結果「感動した」「かっこよかった」など、特に保護者世代の方から多くの好評をいただくことができました。

また、大会のメインである職種説明会においては、陸上自衛隊全16職種、専門職域である法務・語学及び不発弾処理隊を含む、19個の職種・職域がそれぞれのブースにおいて職種説明及び職業体験を実施しました。参加者は、熱心に説明する隊員の姿や初めて見る装備品に興味を示すとともに、様々な体験を通して「勉強になった」「また実施してほしい」など語り、満足して会場を後にされました。



修了式見学の様子

ジョブリンピックの様子



モールス信号体験の様子

自衛隊沖縄地方協力本部は、引き続き広報活動を通じて地域の皆様との交流を深めるとともに、自衛隊の魅力を発信できるように励んでまいります。

マイクロバスの定期運航 (石垣駐屯地業務隊)

石垣駐屯地業務隊(隊長 大町2佐)は、3月2日(日)から隊員の外出時におけるマイクロバスの定期運行を担任実施しました。

管内居住者の外出手段を担保し、都市部又は近郊に所在する管内居住者との格差を是正して、組織の魅力化を図ることを目的としています。

3月2日(日)〜4月28日(月)までの間の土・日・祝日を対象に運行(試行)し、試行期間終了に伴い各部隊から意見収集して、一定の利用者がいることから、引き続き5月から本運行するとともに、オープン系のホームページ上で予約を可視化し、利用要望を受けてから運行する予約制へ変更して実施することとなりました。

利用した隊員からは、「路線バスは午後2時以降は、外出時は毎回タクシーを利用していたので本当に助かります」との声いただきました。

今後は、更なる利便性の向上に努めるとともに、安全運行に努めてまいります。



ホテルミヤヒラ(八重山防衛協会)



利用する隊員

西部方面隊創隊70周年



西部方面隊は、令和7年12月1日に、創隊70周年を迎えます。70周年を記念してロゴマークを作成しました。西部方面隊の部隊章に、「70th」「ANNIVERSARY」と大きく表記し、70周年を祝うとともに、70年の歴史・伝統への誇りと明るい未来を表現しました。また、方面隊の部隊章(西方の国土、海を表現)の周り「WESTERN ARMY」で囲み、強固な日米共同による「西の守り」を表現しました。



西部方面隊 公式ホームページ

温か家族

第2高射特科団本部付隊 濱野2曹
二女 濱野 桜嘉さん



バスケットボールでの試合の一コマ

私の家族は、お父さんとお母さんとお姉ちゃんとおの4人家族です。年長からバスケットボールをしています。今年、小学4年生になって試合に出ることが多くなってきました。試合のときに、お母さんがお弁当を作ってくれて、とても助かってます。お父さんは仕事で忙しくて、試合の送り迎えをしてくれたり、家族のために時間をとってくれて尊敬しています。毎日頑張ってくれているお父さんやお母さんに、試合でもっといいプレーを見せてあげたいと思います。これからも感謝の気持ちで忘れずに、練習を続けていきます。